

ベビーカーをご使用いただく前にお読みください。

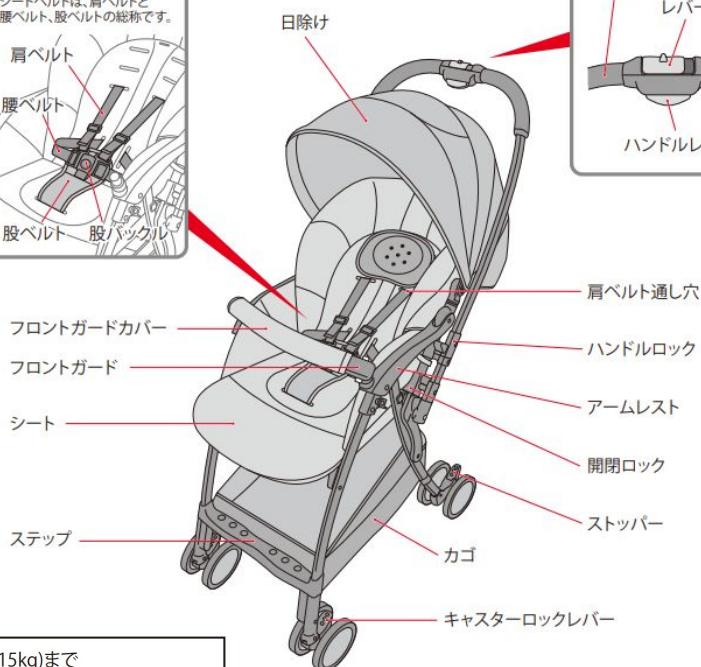
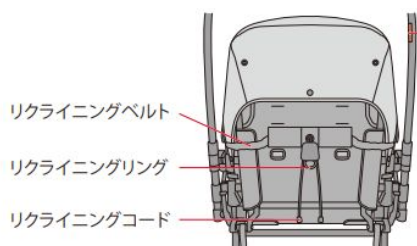
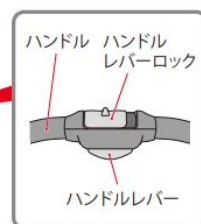
A型車いす カルーンエアー メッシュ

Aprica カルーンエアー メッシュ
取り扱い説明書引用

カルーンエアーメッシュ(A型ベビーカー)の各名称

製品の特徴

- ・ハンドル：背面・対面切替え式
- ・カゴ耐荷重：5kg

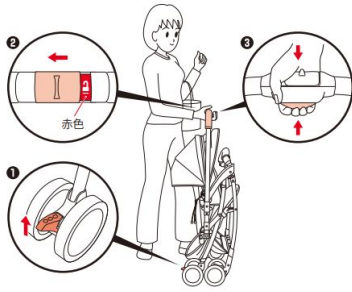


使用範囲	生後1カ月*～36カ月(体重約15kg)まで
適合基準	SG基準A形
望ましい連続使用時間	寝かせた姿勢:2時間以内 座らせた姿勢:1時間以内

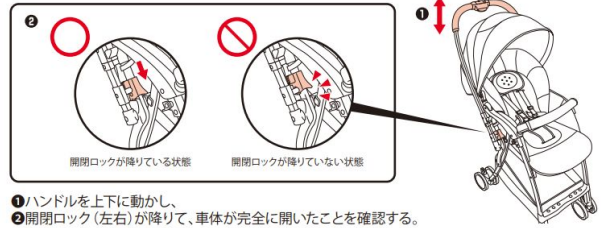
*ここでいう生後1カ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1カ月を経過した乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

開き方

1 開く前に



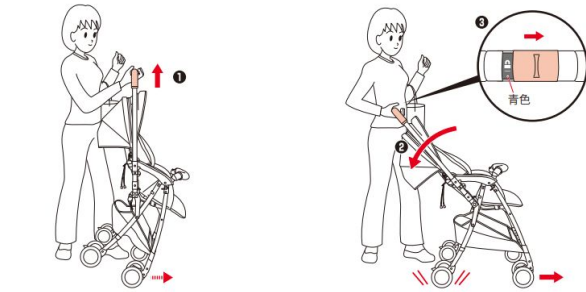
- 1 ストッパーをロック解除する。(P8参照)
- 2 ハンドルレバーロックを解除する。
(赤色が表示されます。)
- 3 ハンドルを軽く下に押し付けハンドルレバーを握って押し込み、開閉ロックを解除する。



- 1 ハンドルを上下に動かし、
- 2 開閉ロック(左右)が降りて、車体が完全に開いたことを確認する。

警告 ご使用時は開閉ロックが完全に下まで降りていることを確認する。ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

2 開く



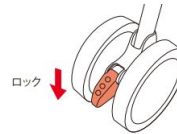
- 1 握ったまま、後輪が地面より離れるまで持ち上げる。
- 2 そのままハンドルを手前へ引いて開く。
- 3 ハンドルレバーロックをかける。(青色が表示されます。)

ストッパーの使い方

警告 ・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右ともロックすること。
・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。
・ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

注意 ・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右ともロックしてください。

〈ストッパーをロックする場合〉



- 1 車輪のストッパーを押し下げてロックする。(左右)
- 2 前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。

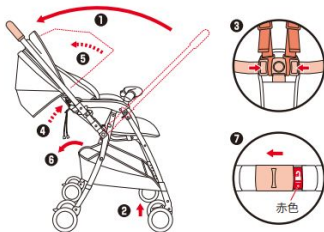
〈ストッパーをロック解除する場合〉



- 1 車輪のストッパーを押し上げて解除する。(左右)

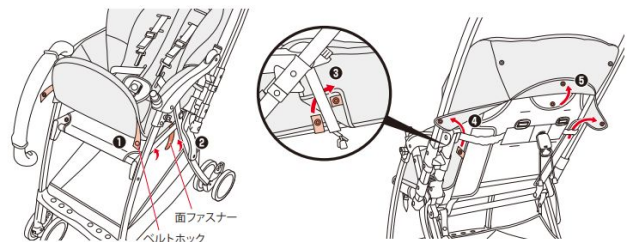
折りたたみ方

1 折りたたむ前に



- 1 ハンドルを背面に戻す。(P9参照)
- 2 左右のキャスターをロックする。(P10参照)
- 3 肩ベルト、腰ベルトを股パックルに差し込む。(P11参照)
- 4 背もたれを起す。(P14参照)
- 5 日除けを閉じる。(P16参照)
- 6 カゴから荷物を取り出す。
- 7 ハンドルレバーロックを解除する。
(赤色が表示されます。)

・フロントガードを開いて、股パックルの解除ボタンを押し、腰ベルト、肩ベルトを股パックルから外す。



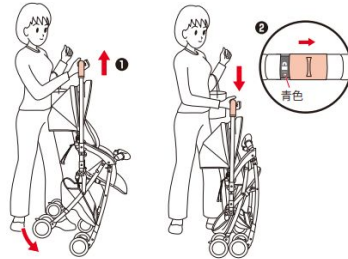
- 1 シート座面前方裏側のベルトフック(左右)を外す。
- 2 シート座面後方裏側の面ファスナー(左右)を外す。
- 3 シート側面のフックを外す。(左右)
- 4 シートをリクライニングベルトの内側から引き抜く。(左右)
- 5 シート背面上部中央のフックを外し、前方へめくりあげる。

2 ロックの解除



- 1 ハンドルレバーを握って押し込み、開閉ロックを解除する。

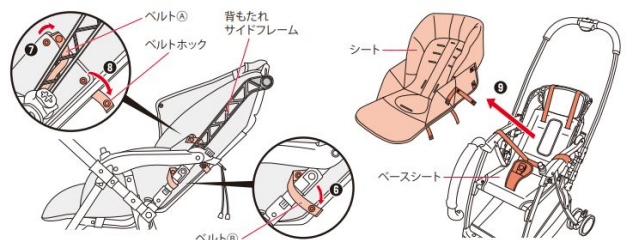
3 折りたたむ



- 1 握ったまま、ハンドルを持ち上げ、ハンドルを降ろして折りたたむ。
- 2 ハンドルレバーロックをかける。(青色が表示されます。)

片手で折りたたみづらい場合は、もう一方の手でフロントガードを持って折りたたんでください。

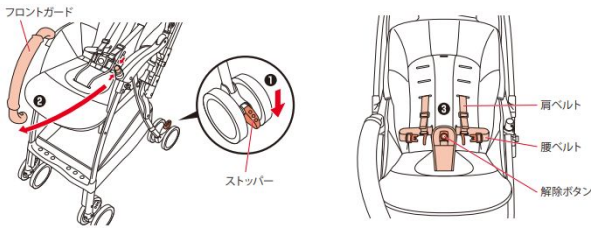
ハンドルを対面に切り替えると、作業しやすくなります。(P9参照)



- 6 座席脇のフレームからベルトのフックを外す。(左右)
- 7 ベルトのフックを外し、背もたれサイドフレームからベルトを引き抜く。(左右)
- 8 ベルトフックを外す。(左右)
- 9 股ベルトと腰ベルト、肩ベルトをシートから引き抜き、シートを取り外す。
※ベースシートは取り外しできません。

お子様の乗せ方

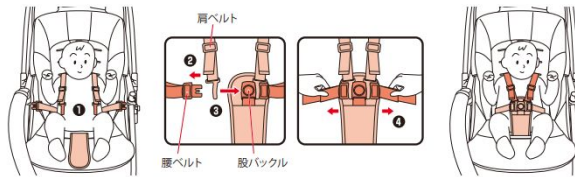
1 準備



- ① ストッパーをロックする。(P8参照)
- ② フロントガードを開く。(P9参照)

- ③ 肩ベルト、腰ベルトを外す。
・股バックルの解除ボタンを押して腰ベルト、肩ベルトを外す。

2 お子さまを乗せる



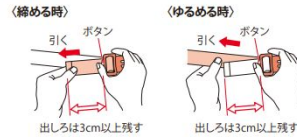
- ① お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せる。
 - ② 肩ベルトを腰ベルトに差し込む。
 - ③ 腰ベルトを股バックルに差し込む。
 - ④ 左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。
- ※ 肩ベルトと腰ベルトの長さは、お子さまの体格と姿勢に合わせて調節してください。(P12参照)

7歳以下
肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
肩ベルトがねじれていないか確認してください。

警告
シートベルトを締めただ後は、左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをすることがあります。
肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
バックルをとめる時に、お子さまの手や衣服を挟まないように注意してください。
シートベルトを締めなくても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

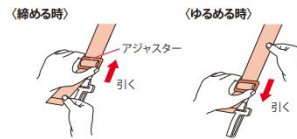
3 ベルトの調節

腰ベルト

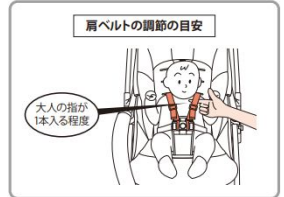
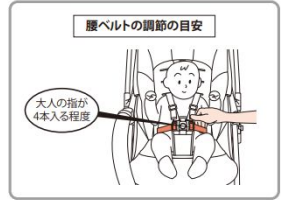


- ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

肩ベルト



- アジャスターを引き、長さを調節する。



警告
肩ベルト、腰ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
肩ベルト、腰ベルトがゆるい場合は、締めていても落ちたり、お子さまが落下するおそれがあります。
腰ベルトの末端の出しろ(⇔部分)は必ず3cm以上残す。
リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。
フロントガードを閉じる時にお子さまの指を挟まないよう注意すること。
フロントガードを装着した後、確実にロックされているか引っ張り、確認する。
お子さまを乗せたまま、フロントガードを持ち上げない。

4 最後に



- ① フロントガードを閉じる。

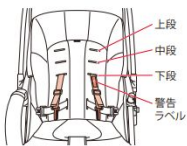
- ② ストッパーのロックを解除する。

各種調節

警告 お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

肩ベルト位置

・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



肩ベルトの目安

・肩の位置より下段に通す。



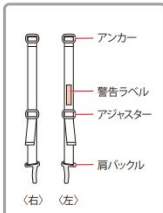
・肩ベルトの位置は以下の3段階に調節してください。

月齢の目安	肩ベルト通し位置
18か月～36か月	上 段
7か月～18か月	中 段
1か月～7か月	下 段

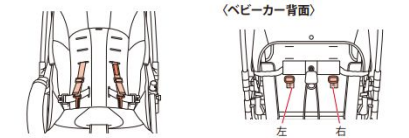
※上記表示は目安であり個人差があります。

肩ベルトの高さ調節のしかた

・シートベルトのバックルを解除して、肩と腰のベルトを分離しておきます。

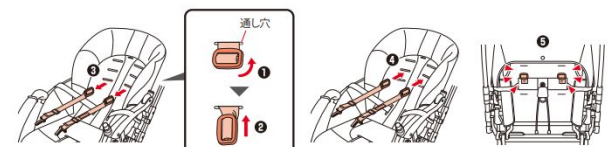


確認ポイント



・左右の肩ベルトは同じ高さ。
・警告ラベルが表に来る。
・肩ベルトがねじれていないこと。

・背面から見て左側に「左」、右側に「右」のラベルの付いた肩ベルトが通っている。



- ① 通し穴に対して肩ベルトのアンカーを図のような向きになるようにひねる。
- ② そのまま通し穴にアンカーを通して、
- ③ 穴の反対側からアンカーを引き出す。
- ④ 使用する高さの通し穴にアンカーを通して、背面側に引き出す。
- ⑤ 肩ベルトを2～3回引っ張り、肩ベルトが外れないことを確認する。

・リクライニングの角度調節機能は、お子さまの姿勢を快適に保つことをサポートします。

リクライニング位置の目安

※下記表示は目安であり個人差があります。

月齢/発達目安	リクライニングの位置
1か月～首がすわるまで	一番倒した状態
首がすわってから、ひとり座りできるまで	一番倒した状態～中間位置
ひとり座りできてから	一番倒した状態～一番起こした状態



・背もたれを一番倒した状態にすると、ヘッドレストが起き上がりやすくなります。
・一番倒した状態では、お子さまが乗って平らになるように設計されています。

背もたれを倒す時

- 肩ベルトをゆるめる。(P12参照)



- ① 片方の手でお子さまを支えて、リクライニングリングを引く。
- ② リクライニングリングを引きながら背もたれを倒し、角度を調節する。
- ③ リクライニング調節後、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。(P12参照)

警告
リクライニングの調節は、平坦で安定した場所で、ベビーカーを停止した状態で行う。
お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。肩ベルトや腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていてもお子さまが立ち上がり、落下するおそれがあります。

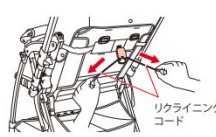
注意
お子さまを乗せたままリクライニング調節をする時は、お子さまの体重を支え、急に角度が変わらないように注意する。
ひとり座りができないお子さまは、背もたれを倒して使用する。

お子さまの頭がヘッドレストの起き上がり位置より上まで来るようになったら



- お子さまが無理な姿勢にならないよう、リクライニング角度を起こさずご使用ください。

背もたれを起こす時



- お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングコードを左右に引く。
・リクライニングコードは片側ずつ引かず、左右同時に引いてください。

7歳以下
お子さまの体重を背もたれにかけた状態では、起こすことができません。

警告
リクライニングコードを過度に引きすぎない。本体や部品が変形したり、破損するなどして思わぬ事故の原因になるおそれがあります。